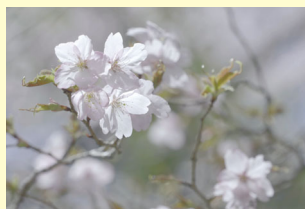




和歌山にゆかりの名をもつ生き物



クマノザクラ

野生のものは和歌山県と奈良県、三重県にまたがる限られた地域でしか見られないんじゃ。野生の桜としては、約 100 年ぶりに見つかった新種として 2018 年に発表されたぞ。

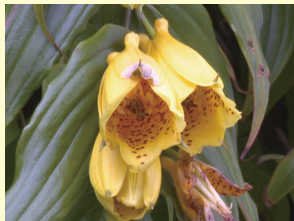
提供：一般社団法人 樹木医葎兵衛 矢倉寛之



コウヤマキ

日本固有種で、特に高野山で大切にされてきた。水に強く、お寺を作る木材としても使われたんじゃ。1年中葉の緑が美しく、仏だんやお墓のお供えにもよく用いられているぞ。

和歌山ならではの風土がはぐくむ生物



キイジョウロウホトギス

紀伊半島南部でしか観察できない。山深い場所の岩場などを好み、秋に花をつける。ジョウロウとは「貴婦人」という意味なんじゃ。



ワカヤマヤチネズミ

日本でしか見られないヤチネズミのうち、紀伊半島南部で見られるものをいうんじゃ。谷地で見られることから「ヤチ」と名が付いているぞ。

提供：和歌山県立自然博物館

ナンキウラナミアカシジミ

北海道から本州、四国でも見られる「ウラナミアカシジミ」のうち、紀伊半島南部で見られるグループじゃ。幼虫はウバメガシの葉を食べるぞ。

提供：和歌山県



イワシモツケ (キイシモツケ)

中部地方などの山がく地帯で咲く「イワシモツケ」のうち、飛び地のよう和歌山県でも見られるものを「キイシモツケ」と呼ぶ。紀の川市の龍門山でたくさん見られることが知られているぞ。

和歌山の環境を未来へつなげよう



オオダイガハラサンショウウオ

2018 年に和歌山県の天然記念物に指定された両生類。源流に近い小さな川で育ち、成長すると森の中で過ごすんじゃよ。

提供：和歌山県立自然博物館

ワカウラツボ

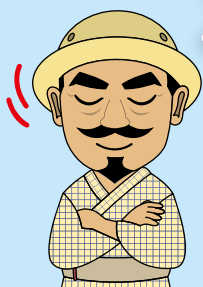
大きさが5ミリほどの巻き貝。和歌浦で見つけて 1954年に新種と認められたが、その後しばらく見られなかったんじゃ。2000年ころから再び観察されるようになったぞ。



ナチマイマイ

熊野那智大社の聖域として守られてきた「那智原始林」でのみ見られるカタツムリじゃ。

ここに行ってみよう！



くまぐす先生の
探索
ポイント

和歌山県立森林公園 根来山げんきの森

- 開館時間 = 午前9時～午後5時
 - 1月は午後4時まで
- 定休日 = 毎週火曜
 - 火曜が祝日の場合は翌日休み
 - 8月は毎週火曜と水曜

<https://genkinomori.jp/>



Vol.6の紹介 と くまぐす先生からのメッセージ

Vol.1 から Vol.5 の動画では、たくさんの生き物を紹介してきた。和歌山県は生物多様性の宝庫であることを実感してくれたかな？

Vol.6 ではみんなが自然の中へ出かけて楽しく学ぶためのヒントをたくさん紹介しているので、ぜひ見てくれ！

生物多様性を未来へつなぐのは君たちじゃ！

